

## ■ 花葉会賞受賞記念講演

# 虫とともに50年～家庭園芸市場の流れとその問題点～

望 田 明 利

昭和45年、応用昆虫学教室を出ました。

昭和40年代は高度経済成長時期。今の学生には申し訳ないのですが、就職に苦勞することなく、武田薬品工業(株)が家庭園芸分野に進出するための募集があり、子会社の武田園芸資材(株)に試験もなく面接だけで入社。その後は家庭園芸分野一筋で現在に至っています。

花葉会の多くの会員は、生産園芸でご活躍ですが、消費園芸の一角を担う薬剤を通して家庭園芸の流れを振り返ってみました。

### ◎家庭園芸の節目 その1

NHK「園芸番組」のテレビ放送及び雑誌

#### 「趣味の園芸」の発行

テレビでの園芸番組の放映。現在では当たり前のように思われますが、1960年(昭和35年)から始まりました(当初は「季節のしおり」)。

「趣味の園芸」としては1966年(昭和41年)からであり、昨年50周年を迎えました。人気にあやかり民放でも園芸番組(日本テレビ「楽しい園芸」)の放映が行われました。

園芸の雑誌と言えば1962年(昭和37年)から季刊として誠文堂新光社より発行された「ガーデンライフ」ですが、残念ながら1981年9月号で廃刊。

NHKでは月刊誌「婦人百科」の一部に園芸の記事が掲載されていましたが、1973年(昭和48年)より独立して「趣味の園芸」を発行しました。

主婦の友社から「園芸ガイド」が1973年「昭和48年」より発行されています。

気候が異なる北海道や沖縄などでも園芸雑誌が創刊されました。当時は、様々な園芸雑誌が発行されました。

雑誌「趣味の園芸」はテレビの園芸番組のテキストという性質があったにせよ、一時は100万部に迫る勢いがあり驚異的でありました。第1号は、17万部発行されましたが、すぐに売り切れ、増刷されました。一時の勢いは無くなったとは言え、現在の発行部数は20万部くらいとのこと。

特に1990年代は、花博の影響もあり園芸ブーム。今までに園芸に関係のなかった出版社まで園芸本を出版。書店では園芸コーナーができるほどでした。

1997年(平成9年)、「ガーデニング」という言葉が流行語のトップテンに入賞するほどでした(「私の部屋ビズ」編集長八木波奈子さんが受賞。トップは「失樂園」)。

### ◎家庭園芸の節目 その2

#### 国際花と緑の博覧会(花博)の開催

1990年(平成2年)に大阪市の鶴見緑地公園で開催された花博が、ガーデニングの走りと言え、これを契機に日本の園芸が変わってきました。

6か月間開催され、広大な面積が花で覆われた従来の平面の園芸から、ハンギングバスケットなど立体的に飾られた会場を見て多くの人が感動しました。花博を境にして「盆栽・キク・東洋ランなど」の男性の園芸から女性の園芸に変わって行きました。また、このころに「培養土」が売り出され、女性が手軽に園芸を楽しめるようにもなりました。

1991年(平成3年)から世界らん展、1999年(平成11年)国際バラとガーデニングショウなども開催され、見て楽しむ園芸に移行しつつあります。現在は曲がり角に来ていると言ってよいでしょう。

### ◎家庭園芸の節目 その3

#### ホームセンターの台頭

植物をはじめ、用土・肥料などの園芸資材類の販売ルートの変化です。

1980年代前半までは、デパートの園芸売り場を頂点にした園芸店でそれらは販売されていました。1972年(昭和47年)に埼玉県与野市に日本のホームセンター1号店「ホームセンター ドイト」がオープンしたのに続き、全国各地にホームセンターが開店しました。2015年(平成27年)現在、210社4241店舗が営業しています。

◎ N H K 趣味の園芸読者対象の調査

1973年（創刊時）
12,000名（男 65% 女 35%）

1997年
14,500名（男 35% 女 65%）

①ご家庭で楽しんでいるジャンル

1	盆栽	51%
2	庭木	50
3	草花	49
4	山野草	23
5	観葉植物	22
6	サボテン	12
7	ベランダ園芸	9
8	温室園芸	7

1	鉢花	62%
2	草花・花壇	54
3	庭木・花木	44
4	観葉植物	42
5	洋ラン	34
6	山野草	28
7	ハーブ	27
8	家庭菜園	24
9	家庭果樹	21
10	盆栽	15
11	サボテン	14
12	多肉植物	10
13	芝	8
14	その他	4

②植物をどこで育てていますか

1	庭	85%
2	ベランダ	11
3	室内	7
4	出窓	4
5	貸農園	1
6	その他	1

1	庭	62%
2	室内	38
3	玄関・アプローチ	37
4	ベランダ	25
5	窓辺	21
6	その他（畑・温室・屋上など）	12

③植物の種類

1973年	
好きな植物 育てている植物は？	
1	サツキ
2	バラ
3	マツ
4	ラン
5	キク
6	サボテン
7	モミジ
8	ツツジ
9	ツバキ
10	ベゴニア
11	ジャクナゲ
12	タケ
13	果物
14	ユリ
15	草花
16	山野草
17	ゼラニウム
18	ボタン
19	オモト

1997年			
育てているのに苦心している植物は			
鉢植え		庭	
1	シンビジウム	1	バラ
2	クンシラン	2	ボタン
3	デンドロビウム	3	果樹
4	バラ	4	ジャクナゲ
5	ハーブ	5	ツバキ
6	カトレア	6	ジャクヤク
7	ファレノプシス	7	ハナミズキ
8	山野草	8	ハーブ
9	シクラメン	9	ウメ
10	ボタン	10	山野草
11	シャコバサボテン	11	マツ
12	サツキ	12	ツツジ
13	観葉植物	13	ユリ
14	ベゴニア	14	サツキ
15	エビネ	15	アジサイ
16	セントポーリア	16	クレマチス
17	キク	17	エビネ
18	クレマチス	18	フジ
19	ジャクナゲ	19	カキ

ガーデニング商品別市場構成（2015年末市場金額 3,881億円）

植物	1,692億円	43.6%	資材	2,189億円	56.4%
花壇用苗		15.0	鉢・プランター		7.8
野菜苗・果樹苗		7.0	家庭園芸用農薬		9.2
花木		8.5	家庭園芸用肥料		13.6
球根		2.3	家庭園芸用培養土		15.9
芝・グラント <sup>®</sup> カーブ <sup>®</sup> ランツ		0.9	ミニ耕耘機		1.3
鉢物、他		9.5	芝刈機・草刈機・刈払機		3.8
			ガーデニング関連商品		4.8

（注）生産者・メーカー出荷ベースでは、2,250億円

植物：937億円（41.7%） 資材：1,313億円（58.3%）

\* 矢野経済研究所 ガーデニング・家庭菜園市場の展望と販売チャンネルの徹底研究（2016年版）

末端ルート別ガーデニング市場構成比（2015）

	2015年度		2001年度	
	億円	%	億円	%
全体	3,881	100.0	3,756	100.0
ホームセンター	3,267	84.2	2,722	72.5
園芸店	336	8.7	346	9.2
フラワーショップ	278	7.2	689	18.3

\* 矢野経済研究所 ガーデニング・家庭菜園市場の展望と販売チャンネルの徹底研究（2001年版 2016年版）

◎今後の課題 その1

消費園芸学の確立を

同じ植物を育てるのに生産者（生活の糧）と家庭（豊かな潤いのある生活）では目的が異なります。しかし、家庭用に販売されている本や雑誌の多くは、プロの栽培方法の横流しです。最高の環境と最高の技術で栽培する生産者と、環境も悪く技術もない園芸愛好家とでは栽培方法が異なります。生産園芸と消費園芸の違いを理解することです。

また、お客さんの求めているものを調査し、消費者の好み・流れなどを知ることは生産者にもメリットです。

◎今後の課題 その2

販売員の知識不足の解消

残念ながら販売員の知識不足には目を覆いたくなります。園芸の知識は本などから得ることもありますが、一步一步階段を登るように体験しながら得ることが自信につながります。

園芸関連商品を85%販売しているホームセンターでは、担当者が定期的に異動するため、パートさんが一

番よく知っているも店が多くあります。逆に言えば、園芸専門店が知識を武器に勝ち残れるのです。園芸店は知識を売ってゆくことで、固定客を作るには、知識をお客さんに提供することです。

◎最後に―農薬に対する考え方―

今まで農薬で食べてきたので、農薬について一言。農薬と言えば、危ない・毒というイメージを持つ人が多くいます。生物（動物や植物）は、生きている以上病気や怪我（害虫）を避けては通れません。人間や愛玩動物の犬・猫が病気になると、躊躇なく薬の世話になる反面、植物が病害虫の被害を受けても薬剤を使用することに抵抗を感じる人が多くいます。

どの物質でも毒性はあり、問題はどのくらいの量を摂取したときに悪影響を受けるかということです。確かに、農薬は以前では今では考えられない物が使用されていましたが、最近の農業では決められた使用方法を遵守すれば安心して使用できます。決められた通り使えば、一生涯大丈夫です！

（文責：編集部）

図表は講演者データより